

環境

協定書通り完成するか

町長／行政として見守る



内之倉成功議員

汚水の流出対策は

町長／企業と話し合いをする

内之倉 環境科学の改善策について、県、町、地元民、企業との話し合いがされたと聞くがどのような改善策が出来たのか。

内之倉 佐志の豚舎の完成時期はいつになるのか。環境対策は、地元との協定書通り完成するのか。また、行政の指導はどうか。

町長 完成は、10月末頃の予定とのことです。

工事の状況は把握に努めていきます。

今後お互いに意見を出し合い信頼関係を築いていくことを基本として、企業の事業達成と地元の生活を守ってもらうように願います。



文教厚生常任委員会による汚水流出調査

町長 企業としては建物の改修や浄化槽の設置を追加して汚水が出ないよう

に地元と話し合っていくとのこと。

しかし、大雨時には場内に降った雨水を処理出来ず流出している状況です。

今後、県と町も連携して改善策がとれるよう指導していきます。

教育環境

教室の改善をすべき

町長／環境整備を検討したい



東 哲雄議員

東 鶴田小学校は、教室に仕切りがなく、騒音や冬場の寒さなど教育環境に良い状況とは言えない。教室改善を早急にすべきでは。



鶴田小学校のオープンタイプの教室

教育委員長／ 低学年から 改善を検討

町長 オープンタイプの普通教室は、騒音や冬場の寒さが欠点とされています。

現状はカーテンで対応していますが、効果がなく学習環境の大きな課題であり、今後学習しやすい環境整備を検討します。

教育委員長 学校施設は児童生徒が学習する場は勿論、一日の大半を過ごす生活の場でもあります。環境の変化に対応し、季節感を体験することも教育の観点から大事と思いますが、快適な環境の整備に向け低学年から、年次的に改善を検討します。